



スポーツのチカラ まちのミライ

スポーツにはどのようなチカラがあるのでしょうか？

子どもたちの成長への効果について、札幌市立澄川南小学校校長の石橋恭さんにお話を伺いました。



スポーツやボランティアから得た学びや経験を
教育者の使命として子どもたちに伝える

札幌市立澄川南小学校校長 石橋 恭さん

1966年生まれ、札幌市出身。2009年からはじめて山岳スキー競技では、日本代表の一人として世界選手権に3回出場。また学生時代の陸上競技経験を生かし、視覚障がい者マラソン世界選手権などでガイドランナーを務める。

取材協力：札幌市立澄川南小学校

自身の経験を通して伝えてきた
スポーツのチカラと素晴らしさ

これまで陸上競技や、トライアスロン、山岳スキー、視覚障がい者マラソンの伴走など、様々なスポーツに打ち込んできました。スポーツは何か新しいものにチャレンジすることから始まります。自らの心身と対話を重ねながら限界に挑み、仲間同士切磋琢磨して高め合えるのがスポーツの魅力です。続けていると壁にぶつかることもあります。諦めずにたゆまぬ練習と努力で乗り越え、また上達したときには喜びが倍増します。立ちふさがり、困難や挫折は、自分を成長させてくれる絶好の機会にもなります。自らの経験を通してスポーツのチカラや素晴らしさを子ども達に伝えていくことは、教育者としての使命だと考えています。

生きる力の一つである「レジリエンス」
困難に打ち勝つ強い心を育もう

札幌市の小中学校で実施している「オリンピック・パラリンピック教育」では、子どもたちがオリパラの理念や歴史を学ぶなかで、ふるさと・札幌への想いや誇り、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむ健全な心を育んでいます。夢の実現のために惜しみない努力や小さな成功を積み重ね、勇気をもって一歩を踏み出す大切さを学ぶことは、失敗や未知なるものを恐れない心を養い、子どもたちの「生きる力」として必要なレジリエンス（心の回復力を高めること）にも役立ちます。オリパラ教育をはじめ、スポーツを通じた様々な取り組みが、子どもたちが夢に向かって一歩を踏み出すきっかけとなり、困難にも負けない強い心を育む一助になることを願います。

問い合わせ先

札幌市スポーツ局招致推進部調整課 ☎011-211-3042



食や自然など多くの魅力に恵まれた
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです

問い合わせ先

札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036